

2021-4-29

ふじさわ・九条の会ニュース

No.64



発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 吉塚晴夫 090-7949-9854

HP(ホームページ) <http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

検索「ふじさわ・九条の会」でも開けます。

沖縄報告・久保博夫

辺野古の埋立に、沖縄戦の人骨が混じる南部の土を使わせてはならない！



本島南部の土砂採取の中止を求める沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」の具志堅隆松さん(左から4人目)と宗教者ら＝2月15日、県庁記者クラブ

座り込むガマフヤーの具志堅隆松さん(中央)＝那覇市の沖縄県庁前で3月1日

沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さんと「平和を求める沖縄宗教者の会」は2月15日、県庁記者クラブで会見し、名護市辺野古の新基地建設に使う埋め立て土砂を、本島南部から採取する計画について「政府の暴挙だ」と批判し中止を求めました。沖縄防衛局が県に提出した工事の設計変更申請によると、糸満市と八重瀬町からは県内土砂調達可能量の7割に当たる約3200万立方メートルを調達します。本島南部は76年前の沖縄戦で日米両軍による地上戦が繰り返された激戦地で、軍民混在の状況で多くの住民が命を奪われ、未収骨の戦没者遺骨も多く残され、沖縄戦跡国定公園に指定、自然公園法で開発が規制されています。糸満市米須では、土砂採掘業者が同法に基づく開発の届け出を出さないまま開発に着手。県から指導を受け、今年1月に届け出を提出しています。



具志堅さんは「戦没者の血を吸い込んだ土砂を埋め立てに使うのは人道上、間違っている。遺骨を助けてほしい」と訴え、3月1日から6日まで沖縄県庁前でハンガーストライキを行いました。

私は国会内での集会にオンライン参加をし、県に、沖縄防衛局が発注する業者が工事を進めない様に要請したり、沖縄県内自治体に決議を求めています！

4月15日沖縄県議会は臨時会を開き、沖縄戦戦没者の遺骨などが混入した土砂を埋め立てに使用しないことを政府に求める意見書を全会一致で可決しました。なお、那覇市議会と南城市議会は同様の意見書を3月22日全会一致で可決しています。全国からも意見書支持の決議ができると良いです。

辺野古現地では運動が続く、効果的な支援を！！

辺野古の基地は米軍だけでなく自衛隊の海兵隊？が使うから！？

沖縄タイムスは1月25日、「陸上自衛隊と米海兵隊が、辺野古新基地に陸自の離島防衛部隊「水陸機動団」を常駐させることで2015年、極秘に合意していたことが24日、分かった。」と報じました。安倍&菅内閣が辺野古にこだわるのは、日本版海兵隊を辺野古新基地に創り、日米共同使用で戦争への道も辞さないとの思惑があるからでしょうか？

※4面左上に続きます。



「刻の川 揺」(左)と「牧場 放」

「はじまりのはじまり」 山内若菜展 ご報告と御礼 思い

山内 若菜

東日本大震災から10年の節目の年、核兵器禁止条約が発効された翌月から「はじまりのはじまり」というポジティブな名前の展示をさせて頂きました。ご覧頂いた方にとっても、はじまりになって欲しいと思いつつはじまりました。サーロー節子さんの言葉「核時代の終わりののはじまり」を連想した方もおられました。

和紙に描いては擦り、洗い流しその上に描くという表現は、傷つきながら皺々に時を、四方に放つ蠢く縁の形態を見つけ、祈りの気持ちが根底にある縦軸の「象」としました。死んでいった動物たちが幾百千の時を超え手を伸ばしているような。牧場は毎日生死が自然のなか激動しています。それを描きながら発見したのは、傷つきながら蘇りたい私の気持ちの自画像かもしれません。期間中、週末は在館するようにしたので、絵の前でじーっと、長い時間をかけて観ていただけの方が多く、それを見てるだけで幸せな日が続きました。「自分の中にある出したい感覚。表現してくれてありがとう」と泣きながら気持ちを伝えてくれる方がおられ、もらい泣きを幾度もしました。多くの方が、傷口や穴を発見してくれ、亀裂や皺のなかに潜む光を発見し、共感していると感じました。

痛みに対し優しい方がいる。九条のみなさんが企画してくださったバスツアーでもご覧頂き、私も、見てくれた方の眼差しと共に期間中に意識も変わり、新作「天空 昇」につながりました。

動物や少女たちを描く時、命より大切なものはないと思いつつ描いています。死を生に転換させる。死んでいった動物たちを生エネルギーに反転させる。命は何度でもよみがえる。世界は厳しい事が起きるが、絶望の穴に落ちず、小さくされた命の本当の大きさを物質的にも近くし未来へ飛ばす。絶望の世界をポジティブファンタジーの世界へ、脱白黒を課しながら悲しみを解き放つ。

日本には抵抗の文化がないとロシアの作家スベト



長崎を描いた新作「天空 昇」

ラーナさんが言った言葉が心に残っています。2016年から、日本の中学校で、命の授業をしてきました。自己肯定感の低い子どもに対し、旧作の「牧場」や「福島之母」講演会で3.11を忘れず、自己表現や自分の命の大きさを体感してもらう授業になっています。今は、この教材の絵画作品牧場をへて、絵に興味がない人にも届くような、メッセージがある絵も絵画世界には、あってよいと思っています。

こんな世界嫌だ！こうしたい。立ちあがろう！何回だって生まれ変わり蘇れる。世界を変えようという叫び。私は牧場の悲劇をずっと100mになるまで描き続ける事は選びませんでした。

変異を含め、自然界、動物界にさまざまな変異が起きた事、遺伝子レベルで傷つけられた大きな出来事を忘れないように、想像して絵を描き、発見、創造してゆきたい。理想を込め、何を美しいとして描くか、絵としての自分の「象」をいつも問われ

る。魔法を使う魔女のように馬の毛を画に含ませて呪術をかける。方法、眼差しが変わらなければ絵も変わらない。世界が反転した世界を想像してみる。「社会の変革を思った」そんな感想も頂きましたが、コロナ禍の籠り生活のなか、10年の今、技術を含め絵は自分の全てを赤裸々に表すのだから、自分変革をする事かと。その心発見！もしてきたように思います。

会期中、日経日本画大賞に入選し、新作と展示替えする事になりました。入選作品「牧場 放」は、5月27日～6月6日に上野の森美術館で公開される予定です。

ご覧頂いたり感想を言ってくれたり、支えてくださる地元の九条の会のみなさまのおかげで、ゆっくりながらですが、絵が成長していると実感しています。本当にありがとうございました。

「丸木美術館—山内若菜展」に行ってきました

「丸木美術館—山内若菜展」に行こう。昨年斎藤さんの一声でこの企画は始まりました。

2021年3月30日 事務局渡辺智恵子さんの細やかな配慮をもって、無事、楽しく決行されました。野山 田畑 川堤 さくら、さくら 春らんまん 快適なバス旅でした。 若菜展へ

絵画展 私の固定概念は吹っ飛びました。額 枠のないことは無限大でした。空へ 宇宙へ 根は深く、深く地下へ 海は深海へと広がるのです。そこに生きる全ての命を抱きながら無限の世界に拡散するのです。見えない放射能に命を奪われ、そして再生へと・・・和紙に描かれた絵ですが、重いのです。厚いのです。深いのです。そのエネルギーに圧倒されました。ともかく対面してください。

原爆の図へ 足がすくむ思いでたびたび訪れるところではないと思っていた「原爆の図」。恐ろしく痛ましく残酷な絵ではあるけれど、始めて美しいと思いました。白い裸体が印象深く お尻 腰のくびれの美しいこと・・・ああ若い人なんだ。この男性の力強い筋肉 美しいなあと思いました。若菜さんの解説で「どこから描き始めたと思います？ どうやって描いたのかしら？」 私 「そんなこと考えたこともないなあ～」 解説のなかで6作まで藤沢の地で描かれたということ いたるところに表現者としての工夫がみられること デッサンのたしかさなど・・・鬼火にも工夫があるようです。毎回「原爆許すまじ」の強いメッセージに圧倒されていたのですが、ちょっと見方が変化したみたいですね。（辻堂文化9条の会 見城次子）

3月30日の「古民家ギャラリーかぐや」と

「丸木美術館」見学はとても充実して贅沢な一日でした

「かぐや」では、温かな人柄の管理人さんの井上ご夫妻に迎えられ、短い時間で慌ただしいはずなのに、ゆったりと過ごしました。思いがけず若菜さんの「ウマとオラのマキバ」の絵本の紙芝居を、奥様の落ち着いた声の語りで見せていただきました。3・11の原発事故で福島で何が起きていたのかを改めて考えました。

次の「丸木美術館」では、展示室の入口で目にした白い壁に掛けられた若菜さんの作品「牧場放」と「刻の川 揺」を見たときは衝撃を受けました。何とかか厳かでエネルギーいっぱいまで圧倒されました。ペガサスが希望に向かって今にも飛び立ちそうで・・・。

華奢な若菜さんのどこにこれほどの大作を次々に描くエネルギーがあるのか不思議です。

丸木位里・俊さんの「原爆の図」。もうお二人はいらっしゃいませんが、原爆投下で起きた悲劇を今に生きる私たちに、いつまでも伝えられるのだと作品が教えてくれると感じました。初期の作品は藤沢・片瀬の4畳半のお部屋で描かれたということも興味深かったです。

両館とも若菜さんの解説付きの見学で作品をより深く理解できたと思いました。ありがとうございました。（辻堂文化9条の会 M.I）

【予告】 山内若菜展in藤沢 6月15日・16日
藤沢市民会館第1展示集会ホール

※1面「沖縄報告・久保博夫」の続きです。

うるま市長選で オール沖縄が勝利するよう！行きます

南西諸島の自衛隊はさらに強化されています。沖縄では首長選で「オール沖縄」が敗戦続きでしたが、1月宮古島市では市議補選で下地茜氏がトップ当選、市長選では「オール沖縄」の座喜味一幸氏が15757票を得て圧勝しました。玉城県政発足後、那覇、豊見城市長選に続く勝利で「オール沖縄」勢力は県内11市のうち3市から4市に伸ばしました。

4月25日投票のうるま市長選では勝てる可能性があります！？来年の県知事選



ハンスト中に訪れた玉城デニー知事に説明する具志堅隆松さん＝6日午前、那覇市泉崎の県民広場&那覇市長選の見通しが出てきました。

コロナは全国で大変！

緊急事態宣言を出さないのは五輪のためか？

村岡新駅設置と

藤沢市気候非常事態宣言

藤沢市は2月15日に気候非常事態宣言を行い、①2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、②気候災害から暮らしを守るために風水害対策を強化し、③気候変動の危機的状況を市民・事業者・行政などあらゆる主体が情報共有し、協働して気候変動対策に取り組むことを表明しました。

その1週間前に、大型開発である村岡新駅設置の4者合意が発表されました。村岡新駅が風水害対策になるはずもなく、かえって危険が増します。新駅設置周辺地域は境川支流の柏尾川に近く、ハザードマップによると、洪水浸水深度5mから10mの危険区域に指定されていて、近くには土砂災害警戒区域もあります。今後、大型台風や豪雨により、駅もろとも浸水の危険性があります。

不要不急の大型工事は大量のエネルギーを消費し、結果温室効果ガスCO₂を大量に排出し、地球温暖化につながります。気候非常事態宣言を発した藤沢市として、必要不可欠な大型工事が否かを慎重に判断して、街の開発計画を見直し、とりわけ村岡新駅設置は中止すべきです。

(藤沢エコネット 青柳節子)

私たちは村岡新駅に反対する。

私たち「村岡新駅とまちづくりを考える会」は昨年6月に結成し街頭アピール、新駅設置反対の署名活動を行ってきました。本年1月に県知事と藤沢市長に5,400筆を超える署名を提出しました。私たちが反対する所以は、いま新型コロナの感染によって、市民の暮らしは未曾有の危機にさらされている。こういう中で藤沢一大船間、わずか4分の距離に多額の税金を注ぎ込んで駅を造る必要はない、ということです。将に不要不急の大型公共工事です。

村岡新駅は総事業費400億円とされています。そんなカネがあるのなら、医療機関、福祉施設、介護施設、保育園、学校、中小業者、商店など市民の暮らしに直接的な支援を行うべきだ。税金を使う優先順位が違うということです。

藤沢市は12月に「村岡新駅周辺まちづくり方針素案」を発表し、市民からパブリックコメントを募集しました。寄せられたパブコメには一定回答するとのことでしたが、2月8日に突如県、鎌倉、藤沢、JR東日本の4者で駅建設の覚え書きを締結したのです。パブコメへの回答は3月26日でした。覚え書き締結から一か月以上経っての回答公表であることを皆さん、よく覚えていて下さい。

私たちは3月29日に鈴木市長と懇談を行い、①駅よりもコロナ対策に税金を使うべきだ。②パブコメ回答の前に4者での覚え書き締結は市民との信義違反である。③市として気候非常事態宣言を出しながら、巨大土木工事に着手するのは矛盾している。以上を問いましたがゼロ回答に等しいものでした。

私たちは諦めない。街頭での宣伝行動、新たな署名への取り組みを再開します。皆さんのご協力を切に願います。

(村岡新駅とまちづくりを考える会 HY)

ふじさわ・九条の会

16周年記念の集い

映画『2887』

アベ政権2887日の検証記録

2021年5月22日土曜日 ①10時 ②14時

①の上映後、河野優司監督のお話あり

藤沢市民会館小ホール 参加費 500円

問い合わせ 09092390864(島田)

ふじさわ・九条の会事務局からのお礼

大勢の方からたくさんのカンパが寄せられました。ありがとうございました。